

国際スケート連盟コミュニケーション第 2241 号

アイス・ダンス (コミュニケーション第 2210 号の差し替え)

新たに採用されたパターン・ダンス (ティータイム・フォックストロット) の手引き

(2019 年 5 月 16 日: ISU セミナーのフィードバックに基づき、一部のステップやホールドに訂正・説明を追加)

アイス・ダンス技術委員会 (IDTC) が準備を進めていた、新しいパターン・ダンス、ティータイム・フォックストロットの教材がすべて完成した。

本コミュニケーションには、ティータイム・フォックストロットの説明、ステップ表、男性および女性のダイアグラムが記載されている。教材ビデオも、ISU Shop から購入することができる。これら資料は、いずれも、スケーターやコーチ、ジャッジがティータイム・フォックストロットの準備を整えるにあたって参考となるよう用意されたものである。

販売されているビデオは、国際スケート連盟が制作したもので、ティータイム・フォックストロットの実演が収録されている。映像はダンス全体を通したもののほか、セクションごとにスローモーションで見られるものも収録されている。ステップ、ターン、ダンス・ポジションのすべてを実演映像で確認することが可能で、コーチにとってもスケーターにとっても役員にとっても大変役に立つことだろう。

セビリヤで開かれた 2018 年の ISU 総会で正式に承認されているとおり、ティータイム・フォックストロットは、2019-2020 シーズンのジュニア・イベントから正式導入とすることをアイス・ダンス技術委員会では計画している。

教材ビデオは ISU ウェブサイトからダウンロードすることができる (*Shop -> Latest Products or Single & Pair Skating / Ice Dance*)。

定価 : 45 スイスフラン

トゥブベゲン,
2019 年 4 月 17 日
ローザンヌ,

ISU 会長 Jan Dijkema

ISU 専務理事 Fredi Schmid

ティータイム・フォックストロット

原曲: Prandi Sound-Tea For Two-Foxtrot

リズム: スロー・フォックス

拍子: 4/4 拍子

テンポ: 4 拍子 27 小節/分, 毎分 108 拍子

パターン: オプション

時間: 1 シーケンスが 58 秒

考案者: Sylwia Nowak-Trebacka, Natalia Kaliszek, Maksym Spodyriev

初演: ドイツ, オーベルストドルフ, 2016 年 9 月

ティータイム・フォックストロットはとてもスムーズかつプログレッシブなダンスで、長く流れるような動きの連続が特徴である。上下動もステップの連続性も膝の曲げ伸ばしで表現し、女性の頭にカップが載っていたとしても、中の紅茶がこぼれないと思えるように滑ること。

気持ちよく印象的なティータイム・フォックストロットとするには、ダンス・フレイム、適切な姿勢、つながり、フォックストロット・タイミングが重要なポイントとなる。ふたりとも相手にもたれかかることなく、体をまっすぐに保つこと。クローズド・ホールドでは、横隔膜のあたりに軽く触れるようにする。なお、姿勢には自分の体をどのように保つのかのみでなく、パートナーとどうつながるのかも含まれる。男性は女性が映えるようにしなければならないし、ダンス・ホールドは、終始、エレガントでなければならない。

ステップは、基本的に、「スロー・クイック・クイック、スロー・クイック・クイック」という典型的なフォックストロット・タイミングに合わせたものとなっている。ダンス・ホールドは多様で、ツイズル中も含め、ホールドしていない瞬間はない。

このダンスは、仕事に明け暮れるなか、つかの間の休憩にゆったりとお茶を楽しんでいるイメージで、事もなげに流れるような演技、余裕が感じられる演技としなければならない。

オープニング・セクション

オープニング・セクションでは、フォックストロット・ホールドからふたり同時に右フォワードのインサイド・スリー・ターン (RFI3-RBO) を行う。男性は、カウント 2 で女性の右腕下をくぐるようにターンし、続けて、結ぶ手をかえ、女性を背後からキリアンでホールドする。ふたりとも、そのまま 3 ビート、RBO で滑る。ステップ 2 は LBO のクロス・ロール、次のステップ 3 は RBI クロス・イン・フロントである。このときホールドはキリアンからフォックストロットに変えるとともに、カウント 2 で、ふたり並んだ RBI ダブル・スリーに入る。ダブル・スリーは、1 ビートごとに半回転すること。

「トゥ・ピック・ホップ」セクション

フォックストロット・ホールド（あるいはフォックストロットとキリアンの組み合わせ）のまま、ふたり同時にダブル「トゥ・ピック・ホップ」（ステップ 4）をカウント 1 と 2 で行い、カウント 3 と 4 の 2 ビート RFI イナ・バウアーにつなげる。イナ・バウアーの最初のビートで、男性は左手で女性をホールドし、右手を女性右肩に置く。女性は、左手をパートナーの左腰に当てる。スムーズなインサイド・イナ・バウアーの最後、ビート 4 とビート 1 のあいだ、カウント「and」で前側の足を「スリー・ターンのように」動かす。つまり、右足のみがフォワードからバックワードにターンし、左足はバックワードのまま滑ることになる。この動きをしながら、男性は左手で女性の左手をホールドし、女性が左腕の下でターンするようにする。これでパートナーの位置が入れ替わり、女性が男性の前に来るので、バックのままステップ 6 と 7 (XF LBI と XF RBI (クロスオーバー)) を行う。このときホ

ールドは、男性が右手を女性の右肩に乗せたオープン・ホールド（キリアン・ホールドの変形）である。

チョクトー／ツイズル・セクション

ステップ9（XF（クロスオーバー）RBI）はチェンジ・エッジでRBO-Wd Choに入る。ホールドはオープン（キリアン・ホールドの変形）のままである。ワイド・チョクトーのRBOエッジは、カウント1で入り、3ビート保つこと。ステップ10（LFI）はチョクトーの出で、1ビート保つこと。次の小節のカウント1で、女性はホールドをフォックストロットに変えた上で、男性左腕をくぐるダブル・ツイズルに入り（異なるホールド／コンタクト／タッチを選んでもよい）、男性は、カウント1と2の2ビート、RFIのまま滑る（ステップ11）。なお、ティータイム・フォックストロットのパターンはオプションであり、ステップ11の女性ツイズルは、長辺と平行に行っても、コーナーを回るように行っても、また、短辺と平行に行ってもよい。ロング・アクシスをまたぐ結果となることも考えられるが、このセクションについては、次のステップで後戻りすることになってしまわない。

スライドからスリー・ターン（スキッド）セクション

カウント3,4,1,2で、キリアンとフォックストロットの組み合わせ、あるいは、基本的なフォックストロット・ホールドで、ふたりそろってダブル・プログレッシブ・ステップを踏み、長いステップ15へつなぐ。なお、カウント2で、ホールドを、男性の右手が女性の右脇の下に入ったキリアンに変える。カウント3まで続くRFIOチェンジ・エッジのあいだ、このホールドを保つこと。このチェンジ・エッジ中にクロス・スライドを行う（男性はオプション）。このクロス・スライドから、リバー・キリアンの変形でホールドしつつRFOスリー・ターン（スキッド）に入り、続けて、ふたりともシングルRBIツイズルを行う。ツイズルの最後は、男性は1ビートRBI（男性は、その後、ステップ16/17でバックワードのクロスオーバーに入る）、女性は3ビートRBIとなる。ふたり同時のツイズルは、男性が女性両腕の下で回転する形で行う（異なるホールド／コンタクト／タッチを選んでもよい）。ツイズルのあと、ホールドはキリアン・ホールドの変形に変える。ステップ16と17は、男性が右手を女性の左肩に乗せたオープン・キリアン・ホールドである。

ミラースイッチング・ジョイフル・ホップ・セクション

このセクションは、新しい小節のカウント1、ステップ17（XF（クロスオーバー）RBI）からスタートする。カウント2でふたりともフロント・クロスから反対側に軽いホップを行い、位置を入れ替える。すなわち、男性が左手を女性左腰に当てた状態で、女性の左腰側から右腰側、後方と位置を変える。

ステップ19の最後はふたりとも両足滑走となり、ステップ20につなぐ。ステップ20はふたつに分けることができる。スタートは、カウント4の片足である。カウント1で、男性は女性の腰をホールドしたまま、両足でプッシュし、LBIスリー・ターンを行う。同時に、女性は、体重を左足に移し、両足でプッシュしてLBIスリー・ターンを行う。このステップが終わったとき、ホールドはキリアンとなっている。

ステップ21はキリアン・ホールドで入り、女性が男性右腰の少し後ろでRFIスリー・ターンをする。男性は、女性の左腕をくぐるようにRFIスリー・ターンをする。このスリー・ターンが終わると、女性が男性をキリアンでホールドしている形になる。フリー・レッグは、ふたりとも、フロント・クペとする。

ステップ22では、男性は、カウント1と2のステップ22aと22bでLFO/RBOの半回転ジャンプを行い、女性は、2ビートともRBOのまま滑る。男性のジャンプが終わったとき、ホールドはフォックストロット（あるいは、フォックストロットとキリアンの組み合わせ）となっている。

ステップ 23 から 26 は、きわめてエレガントなフォックストロット・ホールドでスムーズにつながるシャッセ・プログレッシブ・セクションで、そこから、ステップ 27 で 4 ビートのクロス・ロール RFO スウィング・ロッカーをふたり同時に行い、さらには、4 回のクロスト・ステップ（ステップ 28-31）と続ける。ホールドはフォックストロット（あるいはフォックストロットとキリアンの組み合わせ）のまま、「スロー・クイック・クイック、スロー・クイック・クイック」というフォックストロットらしいタイミングで滑る。このセクションは、ステップ 31 でサイドに 2 ビートのスウィングをして終わる。

次のローブは、ステップ 32 (LFO)、ステップ 33 (XB RFI) という RFI イナ・バウアーの準備動作から始まる。ホールドはフォックストロット（あるいはフォックストロットとキリアンの組み合わせ）のまま、女性は、カーブの内側でイナ・バウアーができるように、男性右腰のわずか前方に位置取る。続いて「ロッカーのような動き」に入る。ふたりともイナ・バウアーで滑りつつ、前側の右足でロッカーを描く。左足は氷につけたまま右足のところまで滑らせ、最後にクロス・イン・フロントを行う。ステップ 35 は、カウント ± 3 で真横に「トゥ・ピック・ホップ」を行い、「and」のタイミングで着氷する¹。

スリー・ターン～ブラケット・セクション

ここはコーナーのセクションで、最初のキリアン・ホールドによるとてもリズムカルなシャッセ（ステップ 37-39）からプログレッシブなスリー・ターン～RBO クローズド・モホーク（ステップ 40-41）へとつながるシーケンスである（ホールドは、フォックストロットあるいはフォックストロットとキリアンの組み合わせに変化する）。

続けて、楽しげな小ホップでローブを切り替え、5 ビートの RFO ブラケット（ステップ 44）に入る。ブラケット・ステップに入る 1 ビート目で、ホールドを、女性が左手を男性右肩に置くリバーズ・キリアンに組み替える。アウトサイド・ブラケットを行う長いセクションのあいだは、このホールドを保ち、ごく短いステップ 45 の瞬間に、女性が男性をホールドするキリアンへと変化させる。

ステップ 46 (XF(クロスオーバー)-RBIO-Tw2) からは、次のコーナー・セクションである。男性は、1 ビートのチェンジ・エッジからダブル・ツイズルに入り、女性は、左足を瞬間的に氷に下ろしてから、2 ビートの RBO アティテュードに入る。男性のダブル・ツイズルは、女性の左腕をくぐるような形で 1 回転してから（異なるホールド／コンタクト／タッチを選んでもよい）、女性の右手を腰に巻き取るような形でもう 1 回転する。このあと、女性が右手を男性右肩に乗せたオープン・キリアン・ホールドによるプログレッシブなステップから小ホップへ、さらに、男性のスリー・ターンでツイズル・セクションが終わる。

「ウォーク・アラウンド・スリー・ターン」セクション

このセクションは、左に若干ずれたワルツ・ホールドのステップ 51 から始まる。ここは、姿勢とフレームをしっかり保つことが重要である。女性は、まず、RFO クロス・ロールからターンに入る（ステップ 52）。一方、男性は、大きく開いた両足をカウント 3 で押してローブと滑る向きを変える。これに続く一連のウォーク・アラウンド・スリー・ターンは、男女が交互に行う。男性は、ステップ 54 のバックワード (LBO) から RFO (ステップ 54a) という形でウォーク・アラウンド・スリーに入る。このとき、ふたりの両足は正対していない。女性がステップ 54 のスリー・ターンに続く 5 ビートの RBI を滑っているあいだに、男性は、ステップ 54a で最後のスリー・ターンをしながら女性を追い越していく。

ダンスの最後は、キリアン・ホールドでふたりとも RBI で滑る形になる。

¹ 訳注：ISU Judging System, Handbook for Referees and Judges – Ice Dance (30/07/2019) 31 ページ等での修正を反映して、「カウント 1」を「カウント 3」に変更した。

ティータイム・フォックストロット

ホールド	番号	男性	音楽の拍数			女性
フォックストロットから キリアン	1	RFI3-RBO		1+3		RFI3-RBO
	2	CR-LBO		1		CR-LBO
フォックストロットまた はフォックストロットと キリアンの組み合わせ	3	XF-RBI3- RFO3-RFO3		1+1+1		XF-RBI3-RFO3
	4	LToe Pick Hop LToe Pick Hop		1+1		LToe Pick Hop LToe Pick Hop
オープン・ホールドー女 性の右手が男性の右肩	5	RFI-InBa,,3”		2		RFI-InBa,,3”
オープン・ホールドー男 性の右手が女性の右肩	6	XF (crossover) LBI		1		XF (crossover) LBI
	7	XF (crossover) RBI		1		XF (crossover) RBI
	8	LBO		1		LBO
	9	XF (crossover) RBIO WdCho		1+3		XF (crossover) RBIO WdCho
	10	LFI		1		LFI
フォックストロットー男 性左腕の下で女性がツイ ズル (異なるホールド/ コンタクト/タッチを選 んでもよい)	11	RFI		2		RFI Tw2
フォックストロットまた はフォックストロットと キリアンの組み合わせ	12	LFO		1		LFO
	13	RFI Pr		1		RFI Pr
キリアン	14	LFO		1		LFO
クロス・スライドから続 けて片足で「スリー・タ ーン (スキッド)」を行 う。ホールドはリバー ス・キリアンの変形。 Tw1 の際、男性は女性両 腕の下で回転する (異 なるホールド/コンタ クト/タッチを選んでも よい)。ツイズルが終 わったら、ホールドは キリアンの変形とする。	15	RFI Pr - crossed slide (optional) - RFI _I O3 (skidded)-RBI Tw1-RBI	2+1+1 +1+1+1		2+1+1 +1+1+3	RFI Pr - crossed slide - RFI _I O3 (skidded)-RBI Tw1-RBI ²
	15a	LBO	1			
	15b	XF (crossover) RBI	1			

² 訳注：原文では ISU Communication No. 2210 と異なり女性のステップ 15 に“(optional)”が付されたが、IDTC に問い合わせた得られた回答を受け、訳文では削除した。8 ページのダイアグラムも同様。

ホールド	番号	男性	音楽の拍数			女性
キリアンー男性の右手が女性の左肩	16	LBO		1		LBO
	17	XF (crossover) RBI	1		2	XF (crossover) RBI
男性が左手を女性左腰に当てた状態で、女性の左腰側から右腰側、後方と位置を変える	17 a	LB (Flat)	1			
	18	RB Hop		1		LB Hop
	19	LBO-XF-LB Hop	1/2 + 1/2		1/2 +1/2 + 1	RBO-XF- RB Hop
		a brief touchdown				
スリー・ターンでキリアンに変化	20	LBI3-LFO	2+1		1+1	LBI3-LFO
スリー・ターン後、女性がキリアンで男性をホールドする.	21	RFI3		1+1		RFI3
	22				2	RBO
	22a	LFO (jump)	1			
ジャンプ終了時にはフォックストロットまたはフォックストロットとキリアンの組み合わせ	22b	RBO	1			
フォックストロットまたはフォックストロットとキリアンの組み合わせ	23	LFO-RFI Ch		1/2 + 1/2		LFO-RFI Ch
	24	LFO		1		LFO
	25	RFI Pr		1		RFI Pr
	26	LFO		1		LFO
	27	Cr-RFO-SwRk		2+2		Cr-RFO-SwRk
	28	XB-LBO		and		XB-LBO
	29	XF-RBI		2		XF-RBI
	30	XF-LBO		1		XF-LBO
	31	XF-RBO Sw		3		XF-RBO Sw
	32	LFO		1		LFO
	33	XB-RFI-InBa- „Rk”		3		XB-RFI-InBa- „Rk”
	34	XF-RBI		2		XF-RBI
	35	LToe Pick Hop LToe Pick Hop		1 + and		LToe Pick Hop LToe Pick Hop
	36	RFI		1		RFI
	キリアン	37	LFO		1	
38		RFI Ch		1		RFI Ch
39		LFO		1		LFO

ホールド	番号	男性	音楽の拍数			女性
フォックストロットまたはフォックストロットとキリアンの組み合わせ	40	RFI-Pr3-CIMo		1+2		RFI-Pr3-CIMo
	41	LFO		2		LFO
	42	RToe Hop		and		RToe Hop
	43	LFI		1		LFI
女性が左手を男性左肩に乗せたりバース・キリアン	44	RFO-Br		3+2		RFO-Br
女性によるキリアン・ホールド	45	LBO		and		LBO
男性の1回転目は女性の左腕をくぐるように行い(異なるホールド/コンタクト/タッチを選んでよい), 2回転目は女性の右手を腰に巻きつけた形で行う.	46	XF (crossover)-R BIO-Tw2	<u>1+1+2</u>		2+2	XF (crossover) - RBI- a brief touchdown - RBO
女性が右手を男性右肩に乗せたキリアン	47	LFO		1		LFO
	48	RFI Pr		1		RFI Pr
	49	LToe Pick Hop		1		LToe Pick Hop
	50	RFI		1		RFI
	51	LFO3-LBI	2+2		4	LFO
クローズド	52	RBI	and		1+1	CR-RFO3 (Step No 52 Lady)
	<u>52a</u>	LBO	2			
クローズドからキリアン	<u>53</u>	RFO3-LBI	1+1		2	LBO
キリアン	<u>54</u>	LBO	1		1+ <u>5</u>	RFO3-RBI Step No 54 Lady)
	<u>54a</u>	RFO3-RBI	2+ <u>3</u>			

